

カリキュラムシート

分類番号

A401-S01-3

訓練分野	電気・電子系	訓練コース	実習で学ぶソフトウェアP L C活用技術		
訓練対象者	自動化システムの開発・保守等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
訓練目標	制御システム構築における設計業務の技能高度化をめざして、ソフトウェアP L Cを活用したプログラミング手法及び計測・制御システム開発に必要な技術を習得する。				
教科の細目	内 容			訓練時間	うち実習・まとめ
				(H)	(H)
1. コース概要	(1) 訓練の目的、専門力の確認			0.5	
2. ソフトウェアP L Cの概要	(1) ソフトウェアP L Cの特徴 イ. ハードウェアP L Cとの違い ロ. I E C－6 1 1 3 1－3の解釈 (2) P Cプラットフォームの活用ポイント (3) 制御性能 (4) ソフトウェアP L Cの課題			1.5	
3. 活用事例の検証	(1) 太陽光発電モニターシステム (2) 試験用対抗機システム (3) 位置決めシステム			1.0	
4. プログラミング手法	(1) ソフトウェアP L Cの構築方法 イ. ソフトウェアP L Cの構成要素 (2) P L Cプログラム イ. プログラム言語 ロ. タスクの種類／入出力設定 ハ. ライブラリ (3) オンラインデバッグ手法			1.5	1.5
5. システム開発実習	(1) システム構築（ソフトウェア設計） イ. フリップフロップ回路 ロ. 外部入出力機器 ハ. タスク（サイクリック、デフォルト、イベント） ニ. W i n d o w sとの連携 ホ. 上位通信（S o c k e t） ヘ. 上位通信2（O P C） ト. モーション制御 チ. インターネットの活用（メール、I I S） (2) システムの評価と改善			7.0	6.5
6. まとめ	(1) 実習結果の確認とその他質疑			0.5	0.5
訓練時間合計				12.0	8.5
使用器具等	パソコン、P L Cコントローラ、E t h e r C A T S l a v e、サーボモーター				
養成する能力	現場力の強化及び技能の継承ができる能力				